

○「担保・制約性」の評価について

各重点地区・拠点のクラス分けにおける評価指標のうち、「担保・制約性」は、その箇所の地権者、所管組織、用途等を主に鑑み、流山市として自然環境の保全や啓発活動取組みへの柔軟性や制限の程度を考慮する。については、以下のように評価する。

「◎」・・・自然環境において、持続性担保の程度が高く、保全や啓発活動に柔軟に取組める期待が出来る

「○」・・・自然環境において、持続性は期待出来るが、地権者、所管組織、用途等により、保全や啓発活動への取組みの柔軟性が安定していない

「△」・・・自然環境において、持続性が不安定であり、地権者、所管組織、用途等により、保全や啓発活動への取組みが制限されている

今回提示している評価は、あくまで仮定であるため、審議会委員の皆様より御意見等をいただき、ブラッシュアップしていきたい。